

## 第 2 学年 生活科学学習指導案

指導者 T 1

T 2

### 1. 題材 「まつりだ やっほいほい」

### 2. 指導にあたって

こんな子どもだから

1年生の時に全校集会「〇〇まつり」に参加したり、昨年度の2年生に「2年生の祭り」に招待してもらったりして、遊びを楽しむことができた。また、「団地祭」「公園祭」「放生会」などに出かけて、祭りの楽しさを経験している子どもたちも多い。 (題材)

1学期の学校探検では、自分たちが実際に調べたことをもとにして、1年生に学校の様子を教えてあげて自分たちも楽しく活動ができた。校区探検の発表会でも、友だちの発表を聞いて質問をしたり、感想を言ったりすることができた。 (体験・伝え合う活動)

7月には、「野菜パーティ」でお世話になった先生方を招待したり、10月には「おいもパーティ」に1年生を招待したりして、クラスの友だちだけでなく周りの人とも一緒に楽しんで活動してきた。校区探検では、探検した場所で地域の人に質問をすることができた。 (人とのかかわり)

こんな題材で

身近な材料を使ったおもちゃやゲームのお店を作り、1年生を招待して、自分たちのお祭りを一緒に楽しむ活動を行う。

祭りという楽しい題材なので、自分たちも意欲的に話し合ったり、楽しく制作したりする活動ができる。

祭りについて友だちと話し合うことで、協力して物事を行うことの楽しさを学ぶことができる。

お互いにアドバイスしあうことで、伝え合うことの大切さを学び、相手に伝えるように工夫を行うことで、話す・聞く力を身につけることができる。

1年生を招待することによって、楽しんで活動してもらうためにはどうすればいいか、相手の気持ちを考えながら活動していくことができる。

こんな手立てを(人とのかかわりは )

つかむ	自分たちも店をひらいて1年生を招待したいという意欲をもたせるために次のことを行う。 ・〇〇まつりに参加し、おみこしを作ったりいろいろな店をまわったりする。 地域の祭りについて「公園祭」実行委員長さんの話を聞く。
さぐる	1年生に喜んでもらえるような、よりよいお店にするために、次のことを行う。 自分たちがやってみたいお店を作って、1年生が楽しんでくれるかどうか、クラスの友だち同士で試しの活動をして見直しをする。
ひろげる	1年生を招待して、自分たちのお祭りをを行い、一緒に楽しむ。 1年生と一緒に楽しくお祭りをする。 1年生に感想を書いてもらい、今までの活動をふり返る。

### 3. 単元の目標

興味・関心・意欲(価値的・態度的側面)

- ・祭りに関心をもち、参加したこと・写真や本を見たこと・ゲストティーチャーから聞いたことなどをもとにして、自分たちの祭りをつくり出そうとすることができる。

伝え合う活動(技能的側面)

- ・自分の意見をわかりやすく伝えたり、友だちのしたことや思ったことを自分の活動と照らし合わせながら聞いたりすることができる。

気づき(知識的側面)(価値的・態度的側面)

- ・楽しい祭りにするためには、どんな物を用意したらよいか材料を選んだり作り方を工夫したりすることができる。
- ・活動を通して、自分のよさや友だちのよさに気づくことができる。

人とのかかわり(技能的側面)

- ・友だちと協力しながら祭りを行うことができる。

4. 学習計画 (22時間+課外)

自己存在感を持たせる支援 **自己** 共感的人間関係を育成する支援 **共感** 自己選択・決定の場の工夫 **選決**

段階	時間	学 習 活 動	人とのかかわり	指 導・支 援 は個別の支援	評 価
か む	1	1. 「〇〇まつり」について話し合う。 ・ 去年, おみこし作りをしておみこしをかついだ。 ・ いろいろなお店を回って楽しかった。	祭りを楽しかったことを友だちと話し合う。	一人一人が自分の考えを発表できる雰囲気を作る。 <b>選決</b>	協力しておみこしをつくること ができる。 (技能的側面) 「〇〇まつり」に楽しく参加することができる。 (価値的・ 態度的側面)
	2	2. 「〇〇まつり」に向けて, おみこし作りをする。 ・ 楽しいお祭りになるように頑張っておみこしを作ろう。	友だちと協力しておみこしを作る。	お互いの役割を認め合いながら仕事を進めていけるように助言する。 <b>共感</b>	
	2 (課外)	3. 「〇〇まつり」に参加する。 ・ いろんなお店があって, お祭りは楽しいな。 ・ 今年は, お店屋さんを開いてみたいな。	お店をまわって, 他学年や校区の方との交流をする。	お店の工夫などを見つけてもらえるように, お店を回りながら賞賛・励ましなどの声かけをしていく。	
	1	4. 自分たちで, 「2年生の祭り」をすることを知る。 ・ 去年, 招待してもらって楽しかった。 ・ 今年は自分たちが招待したい。	〇〇まつりの感想を出し合い, 自分たちが開く祭りについて話し合う。	祭りへの意欲を高めるため, 公園祭りの写真を見せたり, 今まで参加した事のある祭りについて感想を出し合わせる。 <b>選決</b>	
	1	5. 「公園祭」実行委員長さんの話を聞く。 ・ お祭りをするために, いろいろ話し合って計画を立てるんだな。 ・ みんなが楽しんで仲良くなれるようにするんだな。 ・ 準備も後かたづけも大切なんだな。	自分たちの祭りに生かそうという意欲を持って, GTの話聞く。	「公園祭」のねらいや気をつけた事などを話してもらうように, 事前にGTと詳細に打ち合わせしておく。 <b>自己</b>	
	1	6. 話を聞いて分かったことから, 自分たちの祭りをどんな祭りにするのか話し合う。 ・ 1年生が楽しめる祭り ・ 1年生と2年生が仲良くなれる  1年生にたのしんでもらえるおまつりをしよう。	どんな祭りにしたいかクラスで話し合う。	一人一人が自由に発言できる雰囲気作りを行う。 <b>共感</b>	

さ ぐ る	1	7. 「2年生の祭り」について話し合う。 ・まつりの名前は何にしよう ・1年生が喜んでくれるお店を出そう。 ・自分はどんなお店を出そうかな。	やってみたいお店について友だち同士で話し合って決める。	参考になるような手作りおもちゃの資料や写真を掲示しておく。 <b>選決</b> 協力して活動できるよう、希望を聞いて5人程度のグループになるようにする。 <b>選決</b>	
	4	8. お店の準備をする。 (お店の例) 魚釣り ポウリング わなげ 玉入れ めいろ くじびき など ・図工の時間に作ったロボットみたいに箱を組み合わせてみよう。 ・色をくふうしてみよう。 ・リサイクルの材料で使えるものはないかな。	グループで協力してお店作りをする。	子ども達の意欲や興味・関心に応じて選択できるように多様な材料や道具を準備しておく。 <b>自己</b> 承認・賞賛・励ましの声かけや、なかなか活動できない子には仕事の例を示していく。	友だちと協力し合って、楽しそうにお店の準備をしている。 (知識的側面)
	1	9. お店屋さんとお客さんに分かれて1回目のアドバイス会を開く。 ・ やさんは、よくくふうしているな。 ・ ~した方が、1年生は楽しめると思うなあ。	お互いに遊びを試してみ、感想を発表しあう。	みんなで一緒に遊ぶために工夫するところに気づき、より楽しい遊びを作っていけるように学級内で試しの遊びを設定する。 <b>自己・共感</b>	みんなで一緒に遊ぶために工夫していくところを見つけることができる。 (技能的側面)
	3	10. 1回目のアドバイス会で気づいたことをもとにして遊びを作り直したり、ルールを工夫したりする。	アドバイスをもとに、グループで協力しあって、お店の改良をする。	友だちのアドバイスを受け止めながら活動できるように、改良のしかたなどを助言する。 <b>共感</b>	アドバイスをもとに、改良をしようとしている。 (価値的・態度的側面)
	1 (本時)	11. お店の見直しをするために2回目のアドバイス会をする。	「1年生がもっと楽しめるように」という意識をもって遊びを試し、感想を発表しあう。	1年生に楽しんでもらうために工夫するところに気づき、相手意識をもって遊びを作っていけるように2回目の試しの遊びを設定する。 <b>自己・共感</b>	1年生にもっと喜んでもらうために、もっと工夫していくところを見つけることができる。 (技能的側面)
	1	12. 2回目のアドバイス会で気づいたことをもとにして遊び	アドバイスをもとに、協力	自分たちだけでなく1年生が楽しめるような	アドバイスをもとに、

		を作り直したり，ルールを工夫したりする。	して，お店の改良をする。	工夫ができるように改良のしかたを助言する。 [共感]	改良をしようとしている。 (価値的・態度的側面)
ひ ろ げ る	2	13. お祭りの準備をする。 (1) 1年生を招待するために必要なものを話し合う。 ・招待 ・プログラム ・ポスター ・かざり ・音楽 など (2) 自分たちのお店を見直し，祭りの準備をする。	お祭りに必要なものについてクラスで話し合う。  グループで協力してお店の仕上げをする。	1年生の立場に立って考えるように助言していく。 [共感]  お店をまわって，賞賛・励ましの言葉かけをしていく。 [自己]	
	2	14. 1年生を招待して，2年生のお祭りを開く。	お祭りで1年生やクラスの友だちと楽しく遊ぶ。	互いの役割や責任を認めあうように声かけをしながらお店をまわっていく。 [共感]  安全に留意して場の設定をする。 [選決]  後始末やごみの処理も気をつけるように助言する。 [選決]	困っている1年生がいたら，手助けをしたり遊び方を教えたりしながら，お祭りを楽しんでいる。 (技能的側面)
	1	15. 1年生の感想をもとに，これまでの活動を振り返る。 ・1年生がとても喜んでくれた。 ・みんなで頑張ってよかった。	自分たちの工夫や楽しかったことを話し合い，お互いのがんばりを認め合う。	これまでの活動でのがんばりや楽しかったことが振り返られるように，活動の写真を掲示したり，学習プリントをふり返ったりできるようにする。 [選択]	

## 第 2 学 年 組 本 時 学 習 指 導 案

指導者 T 1

T 2

5. 本 時 平 成 年 月 日 ( ) 第 校 時 場 所 体 育 館

6. 本 時 について

目 標

興味・関心・意欲・態度（価値的・態度的側面）

・自分たちが作ったお店で、お店屋さんになったりお客さんになったりして、活動を楽しむことができる。

気づき（知識的側面）（価値的・態度的側面）

・お店をまわって試しの活動をすることで、自分のよさや友だちのよさに気づくことができる。

人とのかかわり（技能的側面）

・1年生に喜んでもらうためには、どんな工夫をしたらよりよいお店になるかを考え、アドバイスカードに書いて友だちに伝えることができる。

前時までに

前時までに、自分たちが作ったお店を1年生に楽しんでもらおうと思って、グループごとに準備してきている。

同じグループの友だちと遊びながら、道具を作ったり遊びの約束やルールを考えたりして、早く自分たちの道具で遊んで欲しいという意欲をもっている。

1回目の見直し会で、1年生の先生やクラスの友だちに遊んでもらって、遊びが楽しくできるようにグループで話し合っ改善したりルールを見直したりしてきた。

本時の手立て

お店のよかったところを書く「よかったよカード」と、もう少し工夫したらいいところを書く「アドバイスカード」を一目で分かるように色分けして用意する。子どもたちにアドバイスをしてもらえるように、保育園の先生をお願いしてアドバイスをもらう。

活動と話し合いがすぐにできるように、場の設定をしておく。

1回目の見直し会と同様に、グループごとに話し合いをして、他のグループの友だちのアドバイスを生かせるようにする。全体での話し合いのとき、お祭りの本番に向けてどこを工夫していったらいいか発表させ、次時への意欲をもたせる。

7. 準 備

児 童（お店屋さん）自分たちが作ったお店に必要なもの

（お客さん）筆記用具 バインダー よかったよカード アドバイスカード

教 師 移動黒板 磁石玉 CDラジカセ CD「まつりだやっほいほい」

8. 展 開（16 / 22）

自己存在感を持たせる支援 自己 共感的人間関係を育成する支援 共感 自己選択・決定の場の工夫 選決

学 習 活 動	人とのかかわり	T 1 の指導と支援 は個別の支援	T 2 の指導と支援 は個別の支援	評 価
<p>1. これまでの学習をふり返り、本時のめあてを確認する。 自分たちの計画や遊びの制作を想起する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1年生がもっと楽しく遊ぶことができるように遊び方をくふうしよう。</p> </div>	<p>1年生の先生たちからもらったアドバイスをもとに、お店の見直しをする。</p>	<p>1年生に喜んでもらうお祭りにするためのアドバイスをすることを確認する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自己</span></p>	<p>めあてを掲示する。<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自己</span></p>	

<p>2. お互いの遊びを試してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約束やルールの説明</li> <li>・ 交代しながらの遊び</li> <li>・ 感想の記入 よかったよカード アドバイスカード</li> </ul> <p>3. 感想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びのよかったところや工夫していくところへの気づき</li> </ul>	<p>友だち同士で楽しく活動する。</p> <p>アドバイスカードやよかったよカードに記入する。</p> <p>友だちと遊んでみて気づいたことを発表し合う。</p> <p>保育園の先生にもアドバイスを聞く。</p>	<p>友だちの工夫のよさに気づき、学ぼうとする態度を育てるため、カードに気づいたことを書くようにする。 <b>共感</b></p> <p>よかったところをもっと工夫したらよいところに分けて書きやすいように、カードを色分けしておく。 <b>自己</b></p> <p>子どものつばやきを把握しておき、カードが書けない子に支援していく。</p>	<p>みんなで一緒に楽しく遊ぶために工夫していくところを見つけることができる。</p> <p>(技能的側面)</p>
<p>魚釣り：魚がたくさんあったので、楽しかったよ。 1年生用と2年生用では、釣り竿のひもの長さを変えてみたらいいんじゃないかな。</p> <p>わ投げ：投げる場所を1年生と2年生で分けたらいいと思う。 1年生はもっと前の方にしたら入りやすいよ。</p> <p>的当て：的の点数がいろいろあっておもしろかったよ。 的の数をふやしたらもっと楽しいと思うよ。</p>	<p>自分たちの遊びをもっと楽しくしていく必要感をもたせるため、アドバイスされたことがはっきりと分かる板書の工夫をする。 <b>自己</b></p> <p>友だちの発言のよさに気づき、学ぼうとする態度で聞くようにさせる。 <b>共感</b></p> <p>どのグループにもアドバイスが発表できるように、カードの内容を把握しておく。 <b>自己</b></p> <p>話し方・聞き方の約束を意識させる。 <b>自己</b></p>		
<p>4. グループごとに工夫するところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アドバイスカードから</li> <li>・ 自分たちが困ったことから</li> </ul> <p>5. 本時の学習をふり返り、次時のめあてを確認する。</p> <p>「もっと楽しくなるように、見直し会で分かったところの工夫をしよう。」</p>	<p>グループで協力して話し合いを行う。</p> <p>友だちの発表を聞き合う。</p>	<p>担当するグループに分かれて、よりよい工夫ができるように助言する。 <b>選決</b></p> <p>今日の学習をふり返るために、学習プリントを準備しておく。 <b>選決</b></p> <p>なかなか書けない子には、板書を示してふり返らせる。</p>	